二〇二四・〇三・二六号　No.一四六号

さいせき・函館

▽積雪が少ないと先月号で書いたら、だらだらと雪が降り、寒暖差の激しい日が続いている。三寒四温とは、この時期納得のいく言葉のような気がする。ようやく自宅前の雪の塊も溶けて福寿草も一輪・二輪と咲き出したのを見て長い様な短い様な冬の終わりを感じることが出来た。▽相変わらず春だというのに政治的には次から次と様々な問題が出て嫌気がします。YouTubeを見てみると北海道選出の参議院議員の素行について取り上げられている。何とも何時誰が見ているか解らない世の中で、その場にいなくても情報は拡散しとんでもない世の中になってしまったとも感じるが事実であるなら先ずは、詫び入れないと始まらない。▽段々頭がでかくなると自然と下がるはずの頭であるが、おもいっきり軽いのか踏ん反り返る政治家屋さんは、いっぱい要るし実際に皆さんもお目に掛っている事だと思います。私も似た事をやっておりますが、十分に注意して活動したいと思っています。日砕協の理事さんも似たような理事の方々も居られる様で、根拠のない問題提起は包んで頂きたいものである。時間の無駄と感じる。結局は、どの組織にもいる事になります。皆さんも其々の立場が在りますので言葉使いには、注意しましょう。私に言われるとは思ってもみなかったでしょう。先に言ったものの勝ちです。

日砕協本部

本部事業

三月四日　総務委員会

三月十五日　会費検討委員会

同日　第55回理事会

いずれも東京五反田にて開催・出席

詳細報告は、道本部にありますが、総務委員会に置いては様々な点で協議してますが議論テーマの間口を広くし過ぎて各委員会に割り振りする事も検討しています。会費検討委員会では、会費そのものよりも日砕協そのものの在り方と未だに風見鶏的な会費の考え方で方向性が決まっておりません。理事会に於いては令和六年度収支予算と事業計画が主なテーマでした。

総務委員会は試行的にリモートで開催される予定になりました。

今後の予定

本部事業

四月十八日　第56回理事会

同　日　会費検討委員会

・休業４日以上の災害報告

⑴福岡県支部　男性62歳　03／13発生

移動式フルイ機のベルト上を歩行中足を滑らせ転倒した。

左上腕骨近位端の骨折等

注意

日砕協北海道地方本部と北砕協組連合会

特にこれと言って動きなし

⑴北海道地方本部・連合会の今後の予定

・４月23日㈫　第一回理事会

・５月29日㈬　総会

・９月上旬　技術研究会

・10月上旬　連合会『情報交換会』

道南地区砕石協同組合・協会

①　人事異動のお知らせ

商工労働　桜井主事が移動と言う事で三月二十五日午後より吉田事務局と共に挨拶して参りました。但し、同課の部署移動と言う事で今後とも助言頂く事としております。

②　商工労働観光課より

採石法第33号関係について

・認可を受けて着手した日から6ヵ月ごと『岩石採取進捗状況報告書』一年ごとに『緑化状況報告書』の提出については、今後はメールでの提出でも可とするそうですが、出来る環境が在ればとのです。

・測量基点の杭の在り方。

基本となる測量基点ですので解りやすい様にして置く事。容易に取り外し出来ない大事なポイントになり、図面に其の位置は明記され終掘まで維持が必要。

以上、二点程提案と確認と言う事で係長からの連絡でした。

その他として

・北海道経済部経済企画課では

地域を応援するマンスリー・レターなるものを毎月発行しているとの事。

三井係長としては、我々業界についてご心配を頂いて居る処ですが内容は多岐に亘っております。以下項目のみ

⑴販路拡大・海外展開

⑵経営支援・ものづくり

⑶融資

⑷雇用の確保

⑸人材育成

⑹その他

の内容になっておりますが、一読するのも良いかと思い紹介いたします。

これもご希望の方はメールで対応或いは、紙ベースで事務局或いは商工労働課にて取る事が出来ます。

・渡島管内企業の人材確保について

商工労働課　明珍課長より

振興局が中心となり各企業情報を収集し企業の情報を照会し企業見学・インターンシップ（体験）を通じて企業としてアピールする事に教育機関（高校・大学・特別支援学校）と共にホームページに公開し地域産業を担う若い人材確保及び定着促進を図る取り組みを行って居ります。

以上渡島総合振興局商工労働課の取り組みについてご報告させていただきました。

③　今後の日程

４月12日

午後２時　道南火薬類協議会理事会

午後３時　協会・組合役員会

議案　総会資料について

５月17日

通常総会

午後４時　道南地区砕石協同組合

午後５時　日本砕石協会函館支部

場所　函館市湯川　旅館一乃松